



# 「こんにちは 市長です」

5月1日号

久しぶりに東京へ出た（4・10）。その日の朝は急に冷えた。卒業式の頃は暖かい日が続き「今年の入学式も葉桜になりそう」などと心配していたけど入学式が続く4月の初めは冷えが戻った。

全国市長会関東支部役員会が千代田区平河町で開かれた。私が関東の支部長をやっていて新年度の予算などを審議するために関東各市の会長さんに集まってもらったのである。「神奈川に入ったら雪でした。早めに出掛けて正解でした」と山梨県甲斐市長の保坂さん。昼に終えて新幹線に乗ると、途中雪が窓を打ち付けはじめた。「今頃雪！」。ほとんど記憶にない春の雪である。過去にさかのぼると「昭和の終わり」の春、雪が積もったと聞いた。期せずして「平成の終わり」のことである。熊谷駅前にある一本の桜の花びらに小さな雪のかけらが乗っている。花びらはピンクを淡くして膨らんでいるように見えた。自宅まで送ってもらい、自分の車で市役所に向かう。保健センターの大きなケヤキは芽吹きが始まり、日に日に緑の真綿が色を増し黒褐色の枝木を覆うようになっている。ケヤキだけを見ればこの季節のいつもの光景である。そこには葉桜がなくてはいけない。満開の桜があるのである。葉桜と緑を濃くするケヤキが日常であったことを考えれば季節のズレは「いとおもしろい」季節の変わり目であるのだ。

令和元年5月1日、本日新天皇が即位します。希望を感じます。国の象徴、天皇が世の中を変えるわけではない。この機に、私たちが主権者として、それぞれの役割を果たしていくことを再認識する必要があります。平成は大きな災害が多かった。上皇陛下、上皇后さまは被災地を丁寧な訪問されました。国民に近づいてきてくれました。国民に愛される上皇陛下、上皇后さまでした。これからはお体をゆっくり休め、ご長寿をお祈りします。